

公開講演会「高齢者歯科医療の確立のために」

1. 主 催 日本学術会議 歯学委員会 臨床系歯学分科会
2. 共 催 日本老年歯科医学会
3. 後 援 日本医歯薬アカデミー
4. 日 時 平成 20 年 6 月 19 日 (木) 13:30~15.30
5. 場 所 岡山コンベンションセンター 1階 イベントホール
(岡山市駅元町 14-1 TEL:086-214-1000) ※J R岡山駅徒歩 3 分

6. 次 第

(1) 開催趣旨

本邦における人口構造の高齢化は、年金や医療・介護など、国家が全体として担う社会保障費を著しく膨らませ、同時に進行する少子化は、国民個々に社会保障費の重い負担を強いている。高齢者医療を巡っては、「医療の適正化」の観点からは医療サービスと介護サービスの連携、終末期医療の見直し、また、生活習慣病対策の推進などの必要性が唱えられ、「医療費の適正化」の観点からは高齢者間、あるいは高齢者と若年者間の医療費負担の公平化や、長期的な財政基盤の安定化が焦眉の問題となっている。この両者を視野に入れた後期高齢者医療制度が、まさに本年より施行されようとしている。翻って歯科医療界を顧みると、昨年度の介護保険制度改正において、口腔機能の向上が介護予防サービスの一つに位置づけられるなど、口腔保健の充実に対する国民の要請は、既に従来の疾病対策の枠を超えて拡大されつつあるものの、高齢者歯科医療は、制度的にも、技術的にも、未だ確立には程遠い現状にある。本シンポジウムでは、少子高齢社会における歯科口腔保健のあり方を、社会、経済、医療倫理など多くの観点から多角的に論じ、高齢者歯科医療の確立に向けた提言を行いたい。

(2) プログラム：

1) 開会の辞

渡邊 誠 (日本学術会議第二部会員、臨床系歯学分科会委員長)

高齢者医療の視点から —あきらめるけどあきらめない—

2) シンポジウム「高齢者歯科医療の確立のために」

小坂 健 (東北大学大学院歯学研究科教授)

高齢化に伴う問題点と歯科医療 —加齢と口腔機能の変化—

植松 宏 (日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院教授)

元気な高齢者に求められる歯科医療

齋藤一郎（鶴見大学歯学部教授）

高齢者のADLと歯科医療

角 保徳（国立長寿医療センター病院医長）

3) 総合討議

4) 閉会の辞

7. その他

事前の申し込みは必要ありません。当日、先着順で、定員200名です。